

2019年度短期海外研修プログラム実施実績

＜語学研修型＞

プログラム名	国名	派遣/連携先機関	期間	プログラム概要	対象
ハンブルク大学ドイツ語サマースクール	ドイツ	ハンブルク大学	8/1-9/1	日本人学生、韓国・台湾人学生と1か月間生活を共にし、ネイティブ講師によるレベル別のドイツ語講座、ドイツ文化体験、歴史的遺産等へのフィールドトリップに参加する。	全学 (ドイツ語学習者が1年以上ある学生が望ましい)
語学研修(英語)	オーストラリア	サザンクロス大学	8/10-9/8	大学附属の語学学校に所属し、アクティビティや地元学校での現地学生との交流を通して、オーストラリアの社会・文化などを学び、実際に異文化を体験しながら英語を学ぶ。	全学
語学研修(英語)	アメリカ合衆国	ポートランド州立大学(春季)	2/13-3/8	大学附属の語学学校に所属し、午前中は英会話や発音、ポキャプラーを学び、午後は「ポートランドカルチャー」「ボランティアリズム」「ホスピタリティ・マネジメント」の3テーマから選択し、テーマに基づく課外活動に参加する。	全学
語学研修(英語)	ニュージーランド	ワイカト大学	8/17-9/8	大学附属の語学学校に所属し、週23時間の授業で集中的に英語を学習する。いくつかのアクティビティも準備されており、異文化を学ぶこともできる。	全学
短期フランス語留学プログラム	フランス	サン＝ティエニス大学付属 語学・文明国際センター 又は グルノーブル・アルプ大学付属 フランス語教育センター(夏季・春季)	9/1-9/29 2/22-3/22	パリに本部を置くキャンパス・フランスが年に2回(春・夏)に主催するプログラムで、世界各国から学生がフランス語・フランス文化を学ぶために提携大学に集まる。	全学
はじめてのタイ語研修プログラム	タイ	スィーパトナム大学	9/4-9/19	午前中はスィーパトナム大学でタイ人講師による初級タイ語やタイ文化の授業を受講する。午後はテーマ、調査先、調査方法を各自で設定して海外社会調査(基礎)を行い、コミュニケーション力、異文化理解力を養う。	全学
語学研修(英語)	オーストラリア	ディーキン大学(3週間・5週間)	2/15-3/8 2/15-3/22	大学附属の語学学校に所属し、文法、語彙、発音、流暢さ、コミュニケーションスキル、日常の様々な状況で使える実践的英語など、4技能のスキルを総合的に伸ばすための授業に参加する。	全学
フィリピン語学研修(英語)	フィリピン	サウスビーク語学学校	8/18-9/7 8/25-9/14 9/1-9/21 2/15-3/7	英語学習方法の取得及び発音矯正を主な目的とし、徹底した4Skillsレッスンを行う。事前学習サポートにより、個人の語学水準に応じた個別学習カリキュラムを設計する。現地では予習・マンツーマンレッスン・復習のサイクルを徹底する。	全学

＜文化体験・交流型＞





2019 PKNU International Summer School	韓国	釜慶大学校	8/4-8/17	午前中は韓国語・文化と国際関係の授業から選択、午後は韓国文化体験や釜山市近郊へのフィールドトリップに参加する。現地では、寮に滞在し、滞在中は日本語のできる韓国大学生がバディとしてサポートしてくれる。	全学
2019 Korean Summer Session	韓国	東亜大学校	8/4-8/17	午前中はレベル別の韓国語講座の受講、午後は伝統音楽や韓国料理体験、歴史的遺産へのフィールドトリップ等を通して文化体験を行う。また、寮に滞在し、東亜大学の学生バディとの密な交流を通して、韓国文化への理解を深める。	全学
Summer Enrichment Programme	マレーシア	マラヤ大学(夏季・春季)	8/18-9/9 2/16-3/8	午前中はレベル別の英語学習、午後は文化体験、フィールドトリップ、現地学生との交流イベント等への参加を通して、英語力を総合的に強化するとともに、マレーシアの文化・社会について英語で学ぶ。	全学
国際産業社会調査プログラム	タイ	チャンカセーム・ラチャバット大学	8/21-9/5	日本人学生とタイ人学生が数人ずつでグループを組み、与えられたテーマで産業フィールド調査活動や異文化研修を行う。フィールド調査活動は、複数のワークショップにより段階的に完成度を高め、グループで成果発表を行う。	全学

＜グローバル教養型＞

タイ・ラジャマンガラ工科大学イサン校での海外短期研修プログラム	タイ	ラジャマンガラ工科大学	8/25-9/8	初心者向けタイ語講座やタイ文化研修及びフィールドトリップ、工学系研究室の見学、現地企業訪問等を通して、工学系人材としてグローバル社会で活躍するための基礎となる知識・教養を身につける。	工学部 3年生以上 (他学年・他学部は要相談)
オックスフォード大学夏期英語語学研修プログラム	イギリス	オックスフォード大学	8/31-9/15	三重大学と奈良県立大学との合同プログラム。ハートフォードカレッジにて、英国の歴史や文化、政治経済などを学ぶ。ブレナム宮殿やコッツウォルズへの訪問、さらにはグループ毎にテーマを設定し、英語でプレゼンテーションも行う。	全学
日本とタイのグローバル人材育成に関する調査と比較研究	タイ	アサンブション大学 マヒドン大学インターナショナルカレッジ カセサート大学付属学校	2/15-2/29	日本とASEAN諸国のグローバル人材育成教育について比較調査・研究を行う。「ASEANの経済統合」のテーマのもと、高校、大学及び現地企業等を訪問し、同テーマが国際教育にもたらす影響を多角的に捉え調査・研究、分析する。	国際地域学部 1年生 (2019年度後期 「課題探求プロジェクト基礎B」科目履修生)

＜専門分野型＞

ラトガース大学研修プログラム	アメリカ合衆国	ロバート・ウッド・ジョンソン・メディカルスクール(ラトガース大学)	4/1-5/1	家庭医学を専門とするコーディネーター教員による研修。Family Medicine(家庭医学)、Endocrinology(内分泌学)、Surgery(外科学)、Psychiatry(精神医学)、Gynecology(産婦人科)、Radiology(放射線医学)などの診療科にて研修を行う。	医学部6年生
卒前臨床実習プログラム	中国	紹興市人民病院	6/8-7/6	平成23年から毎年1名ずつ外国人研究者の受入を行っており、また、本学とは平成24年に学術交流協定を結んでいる。中国は人口が多い他、気管支疾患や慢性成人疾患など日本と違った症例に触れる機会も多く、医療事情の違いについて見分を深めることができる。	医学部6年生
マケレレ大学研修プログラム	ウガンダ	マケレレ大学	6/22-7/8	マケレレ大学医学部並びに大学院修士課程は、アフリカで二番目に位置づけられている有名大学である。そこで、日本国内では学ぶことのできない感染症や妊産婦医療並びに小児医療や公衆衛生などを学び、自らの医学者・医師としての将来のキャリア形成に資する。	医学部6年生
医学部夏季集中医学英語研修プログラム	アメリカ合衆国	①ハワイ東海インターナショナルカレッジ ②ハワイ大学医学部	8/12-8/17	午前中は医学英語(Medical English Classes)、Medical Ethicsのクラスにて、医学英語や医療倫理を学ぶ他、問診やCase Presentationの仕方を学ぶ。午後はハワイ大学医学部やハワイ州内の病院訪問を行い、医療現場の見学を通してアメリカの医療システムについて学ぶ。	医学部5・6年生
アジアスチールブリッジコンペティション2019への参加を通じたグローバルイマジニアの育成	インドネシア	ブラウイジャヤ大学	8/20-8/28	大会中のプレゼンテーションにおいては、英語による説明や受け答えを行うことで、国際的なコミュニケーション能力が涵養される。限られた時間で、何を追求し、改善して、どのようなプロセスを辿るべきかを検討することにより、チームが有機的に活動するためのマネージメント能力が育成される。	全学部・専攻・全学年 ものづくりに興味を持っていること、国際交流に意欲があること

プログラム名	国名		派遣／連携先機関	期間	プログラム概要	対象
チェンマイ大学との医学研修交流	タイ		チェンマイ大学	9/9-9/15	チェンマイ大学及び大学附属病院において、授業の聴講や病院見学、医学実習を行う。大学関連医療機関への見学及び医療研修への参加を通して、熱帯地域の特異な感染症や疫学について実地で見聞を深め、現地の医療事情について理解を深める。	医学部・医学科
ロシア・イルクーツク州立医科大学 医学部派遣	ロシア		イルクーツク州立医科大学	9/10-9/24	本学以上に多い症例数の大学病院で脳神経外科の手術を中心に研修する。午前中は脳神経外科外来見学、午後は手術室で手術を見学し、術法についての知識を身に付ける。主に脊髄・脊髄外科に関する知識・技能を習得するとともに、ロシアの医療教育システムや地域医療システムを学ぶ。	医学部・医学科 3年生
海外研究機関における基礎医学実習	オーストラリア		アデレード大学	9/10-9/24	月曜から金曜まで毎日ある英語でのプレゼンテーションに参加し、基礎研究の見学を行う。世界的に有名な耳鼻咽喉科領域の炎症性疾患研究室において、最先端のクオリティを維持するための日々の研鑽の場に参加する。	医学部3年生
英国の医療と高度実践看護師研修	イギリス		①バーミンガム市立大学 ②レスター大学附属グレンフィールド病院 ③コベントリー&ワーウィック大学病院 ④セントクリストファーズホスピス	9/15-9/25	大学附属病院やホスピスでの見学実習や授業参加により、それぞれの領域における専門的医療・看護の実践について学ぶ。特に英国と日本における健康保険制度と医療サービスの特徴を理解し、各国の制度及びシステムにおける最高・最善の医療の提供について考察できることを目指す。	医学部・看護学科

＜実践・インターンシップ型＞

東燃アジア(インドネシア)との国際医学教育交流事業	インドネシア		アイルランガ大学	5/11-5/25 12/20-1/14	病原性微生物の最先端の研究(高病原性鳥インフルエンザウイルス、新型の肝炎ウイルス、下痢ウイルスなど)に参加するとともに、日本では経験できない熱帯ならではの医療の実際を学ぶ。	医学・医学科 (「生体と微生物」履修済である者)
Academic Internship in Leeds	イギリス		リーズ大学	7/15-9/20	英国において最も繊維の研究・教育に注力している大学の一つであるリーズ大学の研究室に滞在し、研究生生活を体験する。受け入れ研究室の学生のサポートを受けながら課題実験に取り組みとともに自身の修士論文研究の内容について説明する機会を設ける。	工学研究科博士前期課程1年もしくは2年 受入教育機関に関連する卒業研究を行った経験のある者
Academic Internship in NCSU	アメリカ合衆国		ノースカロライナ州立大学	8/25-11/1	米国において最も繊維の研究・教育に注力しているノースカロライナ州立大学の研究室に滞在し、研究生生活を体験する。また、先方の研究室の学生のサポートを受けながら課題実験に取り組みとともに自身の修士論文研究の内容について説明する機会を持つ。	工学研究科博士前期課程1年生 (受入教育機関に関連する卒業研究を行った経験のある者)
シーナカリンウィロート大学との交流プログラム	タイ		シーナカリンウィロート大学	9/2-9/15	初級のタイ語の修得と、外国語(英語)での専門分野知識の学習を通じて、意思疎通ができるレベルの相互コミュニケーション能力の強化をはかる。	工学部(工学研究科) 電気電子・情報系、学部3年生～大学院1年生 プログラミング経験者が望ましい
フィンドレー大学短期教育研修	アメリカ合衆国		フィンドレー大学	9/10-10/1	近隣の公立学校やフィンドレー市内の日本語補習校で授業参観・実習等の教育実践活動を行う。学校体験については、フィンドレー大学の教員養成プログラムの中で実施されている学校インターンシップのノウハウを生かした取り組みを行うことで、外国における教育の現実について理解する。	教育地域科学部 教育学部 (学校教育課程)
原子力人材の国際性向上事業	アメリカ合衆国		ニューメキシコ大学	10/1-2/21	研究テーマの専門知識の更なる習得、実験の実施、スーパーバイザーとの議論により理解を深め、問題改善・解決の提案ができるようになる。また、将来、グローバルに活躍できる高度専門技術者や研究者として重要な、国際的な研究者社会での流儀、文化、常識を早い段階で身に付ける。	工学研究科博士前期課程(原子力・エネルギー安全工学専攻) / 後期課程(原子力・エネルギー安全工学分野)
NIE-UF Student Exchange Programme	シンガポール		南洋理工学園国立教育大学院	1/2-2/1	南洋理工学園国立教育大学院において、4週間に渡って学校現場に身を置き、授業や学級の参観とTAをそれぞれ2週間ずつ行うことにより、シンガポールの教育システムや現状について学ぶ。現地の学校を拠点にインターンシップを行う。	連合教職開発研究科 教職開発専攻

＜研究・発表型＞

韓国研究・発表型プログラム	韓国		韓国アルコール産業(株)	6/2-6/12	The CCMR2019 international conferenceで研究成果の発表を行う。英語による研究報告を実施することで、学生の語学力の伸長を企図しつつ、研究交流を図り、研究内容を深化させることとしている。また、研究関連韓国企業を訪問・交流することで、専門的知識・能力を高める。	工学部・材料開発工学専攻 学部4年生～博士前期課程2年生
フォトニクス分野に関する国際学会または学生支部大会への参加及び大学への訪問を通じた教育研究交流	アメリカ合衆国		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	8/9-8/22	光工学に関して世界的権威を有する国際光学会(SPIE)へ参加する。また学生支部大会への参加や他大学の学生とグループ討論、発表をとおして、専門性や創造性を高める。	全学 (フォトニクス分野を専門とする者)
異分野融合がもたらすグローバル人材育成	マレーシア		①プラ大学 ②モナシュ大学マレーシア校	8/16-8/27		
	台湾		①国立成功大学 ②国立中興大学	8/18-8/27	バイオデバイス、ナノ材料、細胞工学など、敢えて自分の専門とは異なる分野の研究室に滞在し、現地学生とともに実験やディスカッションを行う。日々の研究活動や発表会への参加を通じて、論理的に思考し、発表するプロセスについて学ぶ。また、異なる研究分野の知識・背景を持つ現地学生との議論を通して、自分自身の研究への理解を深める。	工学部3年生以上または工学研究科博士前期課程以上
	中国		天津工業大学	8/25-9/3		
	中国		浙江理工大学	9/1-9/10		
フォトニクス分野に関する国際学会または学生支部大会への参加及び大学への訪問を通じた教育研究交流	アメリカ合衆国		メリーランド大学	9/13-9/26	フォトニクスの基礎研究に関して世界的権威を有する国際光学会(QSA)へ参加する。また学生支部大会への参加や他大学の学生とグループ討論、発表をとおして、専門性や創造性を高める。	全学部、全専攻のフォトニクス分野を専門とする学生
神経科学における国際的研究についての研修プログラム	アメリカ合衆国		①北米神経科学会 ②ワシントン大学セントルイス校 ③ハーバード大学	10/18-11/1	海外の研究者に対し、英語で専門領域の研究について発表を行い、研究内容について英語で意見交換をする。海外の最先端の研究の動向、研究施設について学ぶとともに、多様な研究者と交流を介して将来的に国際的な研究者、技術者となるための具体像を得る。	生物応用化学専攻 博士前期課程 北米神経科学会の国際学会で発表予定であること
西安オータムプログラム	中国		西安理工大学	10/31-11/9	西安理工大学にて開催される修士学生向けの研究課題中間報告会にて、自己の研究を英語で発表することで、実践的な英語力とプレゼンテーション力を習得し、現地学生の研究や研究に対する姿勢を知る。また、初級漢語や中国事情等の講義、文化施設や現地企業等へのフィールドトリップを行う。	工学部4年生 博士前期課程 1年生、2年生
テラヘルツ波について学ぶ実践的教育研究研修プログラム	フィリピン		フィリピン大学ディリマン校	11/15-12/14	フィリピン大学物理学研究所にて受入先教員・研究者の指導のもと、課題研究に資する共同研究、共同実験を計画、実施し、課題研究成果発表報告を行う。フィリピン国際福研究所やデラ・サル大学理学部を訪問し、現地の教員・学生と交流をする。	大学院工学研究科 博士前期・後期課程 一定レベルの英語能力があること(TOEIC800点以上を推奨)
ハル・オレオ大学 物性・材料分野の共同研究実践プログラム	インドネシア		ハル・オレオ大学	11/16-12/1	受入先教員・研究者の指導のもと、課題研究に資する共同研究、共同実験を実施する。現地の教員・学生との交流を通じて日本の大学と海外の大学との教育研究環境、文化の違いを学ぶ。事前に課題研究について研究成果のプレゼンテーションを準備し、英語によるプレゼンテーションを行う。	工学部 博士前期課程 1年生、2年生